

Jリーグ百年構想クラブ認定に係るJリーグ担当者ヒアリング結果

1日 時 令和2年12月17日(木) 10時～10時40分

※Web会議 (Zoom) にて開催

2場 所 鈴鹿市役所 4階 404会議室

3出席者 三重県サッカー協会専務理事 藤田 一豊
(株)アンリミテッド 代表取締役 吉田 雅一
執行役員 塩見 大輔

鈴鹿市 文化スポーツ部長 坂 佳徳
スポーツ課長 川出 喜則

4相手方 Jリーグ クラブライセンス事務局
鈴木本部長, [REDACTED]

5内 容

(Jリーグ事務局 [REDACTED])

- ・Jリーグ百年構想クラブはJリーグ入会の最初のステップ。次にJ3クラブライセンスの申請と交付があり、3番目のステップとしてJリーグ入会審査がある。
- ・主な要件は、JFL上位4クラブかつ百年構想クラブ上位2クラブ、今シーズンは新型コロナウイルスの影響で要件から外れたが、JFLでのホームゲームの観客数が平均2千人を超えること、財務面で2つ。当該年の営業収益が1.5億円以上と債務超過でないこと。その他要件もあるが、主にこの4要件を満たしてJ3入会となる。
- ・本日は、地元行政、サッカー協会がどのように鈴鹿ポイントゲッターズを支えているか、どのようにクラブを見ているのかを伺いたい。

(Jリーグ事務局 [REDACTED])

- ・まず市役所に対して、昨年、チームの名称が変わったが、これまで鈴鹿市で活動してきている鈴鹿ポイントゲッターズをどのようにご覧になっているか。

(鈴鹿市)

- ・本市は、鈴鹿市総合計画で、スポーツ振興の面で、「する」、「観る」、「支え

る」スポーツを位置付け、スポーツ推進計画においても「スポーツを観て、参加して、楽しむまち鈴鹿」を大きな目標としている。

- ・そのような中で、鈴鹿ポイントゲッターズに対しては、スポーツを「観る」機会の創出とスポーツをボランティアなどで「支える」部分について期待をしている。
- ・その他、全国への情報発信や地域の一体感の醸成なども期待しているところである。
- ・また、経済面においても、今回、鈴鹿サーキットの隣接地に新スタジアムを建設することで、観光面や雇用創出の面でも期待しているところである。

(Jリーグ事務局 ■■■■)

- ・市民の皆さんへの認知度についてはどのように考えているか。

(鈴鹿市)

- ・現在、12月議会が開催されており、二人の議員から賛成、応援する立場で一般質問をいただいた。
- ・市民の反応については、市内では高校サッカーの有力校はないが、県内ではサッカーの盛んな地域であり、本市出身のJリーガーも活躍しており、非常にサッカーについては関心が高い。Jリーグ誕生、スタジアムの完成への期待は大きい。
- ・新スタジアムについては、運営面で協力していく協議体を作る動きもあり、これから盛り上がっていくものと考えている。

(Jリーグ事務局 ■■■■)

- ・市役所内、市長の考えはどうか。

(鈴鹿市)

- ・私たちよりも市長のほうが力が入っており、先日も県知事に直接出向き、市長、県知事、吉田代表とユニフォームを着用してのメディア発表に至っており、市長から指示をもらっているところである。

(Jリーグ事務局 ■■■■)

- ・これからプロサッカークラブとして上を目指していくにあたり、スポンサーとして資金を賄ってクラブを運営していくことが重要となってくるが、地元経済界の反応はどうか。

(鈴鹿市)

- ・以前から商工会議所や青年会議所は鈴鹿ポイントゲッターズに対して期待をしており、今回の発表で更に期待が高まる場所である。

(Jリーグ事務局 [REDACTED])

- ・次に、三重県サッカー協会に対して、これまでヴィアティン三重のJリーグ入会に向けてヒアリングをしたが、本日は鈴鹿ポイントゲッターズについてヒアリングさせていただく。

(Jリーグ事務局 [REDACTED])

- ・県民会議でJ1規格のスタジアムを建設し、J1を目指せるようなクラブを育てていくという話があった中、ヴィアティン三重が自らスタジアムを整備し、J3参入を目指すという動きがあり、今回も鈴鹿ポイントゲッターズがスタジアムを整備し、J3入会を目指すという動きがある。このような現状の動きをどのように捉えられているか。将来的な動きもあれば伺いたい。

(三重県サッカー協会)

- ・先回のヴィアティン三重の申請時にお話しているが、三重県サッカー協会としてのスタンスは大きく変わってはいない。
- ・鈴鹿ポイントゲッターズの申請について、現状、県内で4つのクラブがJリーグ入会を目指しており、三重県サッカー協会としては、各々の申請については承諾書を提出させてもらう考えである。
- ・県民クラブについては、正式にはJクラブの創設という大きな柱がある。その過程の中でヴィアティン三重が先行され、今回の鈴鹿ポイントゲッターズが先行しているという現状がある。
- ・県民会議の考え方の中には、県民に愛されるクラブという部分の中で、様々なアプローチがある。例えば、鈴鹿ポイントゲッターズが今回の認定を受けて、成績を上げてJリーグに昇格し、県民のクラブとして認識をされるのであれば、新たなスタートがそこから始まるのではないかと考えている。

(Jリーグ事務局 [REDACTED])

- ・鈴鹿ポイントゲッターズの練習会場が三重県サッカー協会の事務所の近くということで、日頃よりコミュニケーションを図っていると聞いている。
- ・鈴鹿ポイントゲッターズと三重県サッカー協会連携して行っている事

業があればお伺いしたい。

(三重県サッカー協会)

- ・現在、共同で行っている事業は特にはないが、今後1つアイデアがあって、吉田社長と相談している。
- ・具体的には、キッズの巡回指導である。現在も鈴鹿市を中心に幼稚園、保育園を廻ってくれているが、三重県は南北に長いので、南の方でも実施してもらうことで、鈴鹿ポイントゲッターズの認知度が上がることを期待している。

(Jリーグ事務局 ■■■)

- ・鈴鹿ポイントゲッターズは昔から鈴鹿市で活動をしているが、オーナーは東京の会社であり、地元根付いていないということを心配しているが、このあたりはどう考えているか。

(鈴鹿市)

- ・三重県サッカー協会からも話があったが、来年、鈴鹿では国体が開催され、鈴鹿ポイントゲッターズは小学校への出前教室の協力をいただいている。その他、鈴鹿シティマラソンなど運営の協力をいただいている。
- ・また、コロナ禍で消毒液が不足しているときに、次亜塩素酸水を放課後児童クラブ45カ所に寄付をいただいております。子ども、保護者など不安の解消につながり、大変感謝をしている。
- ・そういう点からは、他の地域のクラブということではなく、地域に十分協力をいただいております。心配には及ばないと考えている。

(Jリーグ事務局 ■■■)

- ・ヒアリングのため、答えづらいこともお聞きするがご容赦いただきたい。
- ・もう1点が、新しくスタジアムを建設にあたり、非常に自然が豊かであり、環境を重視する方々から一部反対運動というような懸念の声が出てくるのではないかとお伺いしているが、そのあたりはどうか。

(鈴鹿市)

- ・建設予定地が県営鈴鹿青少年の森公園内で県の施設となる。確かに自然豊かなところであるが、素掘りの地形を生かした計画と聞いており、現在、苦情等の声は入っていない。もっと早く計画を進めてほしいとの声が大きいと思われる。

(Jリーグ事務局 ■■■)

- ・現在のところ、鈴鹿市一つの公共団体がホームタウンとして活動しているが、昨日のクラブヒアリングで、将来的には近隣の市町にも拡大していく構想があることを伺った。そのあたりについて考えを伺いたい。

(鈴鹿市)

- ・鈴鹿市は人口20万人都市であるが、隣の四日市市、津市はそれぞれ人口30万人であり、圏域を越えて広く認知されるクラブになってほしいと考えている。

(Jリーグ事務局 ■■■)

- ・現在、鈴鹿ポイントゲッターズに対して、もう少しこのあたりを頑張らないとこの先難しいといった期待や要望があれば伺いたい。

(三重県サッカー協会)

- ・三重県は優秀なプレーヤーを輩出している。日本代表にも2～3名選ばれたりしている。
- ・鈴鹿ポイントゲッターズに三重県出身のプレーヤーについて、強化の部分もあり一概には言えないが、馴染みの選手がチームにいることは一つの魅力であり、チームのアピールのポイントになるのではないかという話はしている。

(鈴鹿市)

- ・今回の昇格基準で免除となった平均観客数2千人は今後の大きな課題である。
- ・拠点となるAGF鈴鹿陸上競技場は2千人も収容できない現状がある。認知度も含めて、観客がもっと増えるように、行政も情報発信をしていく必要がある。

(Jリーグ事務局 ■■■)

- ・三重県サッカー協会に対して、ヴィアティン三重、鈴鹿ポイントゲッターズの両クラブともスタジアムの話があるが、県民会議全体でスタジアムを検討していくことと、各クラブあるいは行政がスタジアムを整備していくことについて、今後、調整や検討会のような形で進めていくような考えはあるか。

(三重県サッカー協会)

- ・今年度については県民会議の総会，理事会が開かれていない。
- ・ヴィアティン三重がJ 3クラブライセンスを交付され，新たに鈴鹿ポイントゲッターズがJリーグ百年構想クラブの申請をされたことになる。Jリーグ百年構想クラブはJリーグを目指すということであり，2つのチームがJリーグを目指すということである。
- ・実際に，県民クラブの出発の時点で三重県が180万人の人口を抱え，その多くが北勢に人口集中している。その中であっても三重県として支えられるチームは1チームであろうということである。
- ・桑名市長も鈴鹿市長も会員として参加をいただいている。一方，チームをどのように立ち上げていくについては，既存のクラブを全く無視するわけにはいかない。既存のクラブが自前でJリーグを目指すことについてブレーキをかけさず訳にはいかない。
- ・先ほども話をさせていただいたが，県民クラブが色々な方法で作られていく可能性が出てくる。この2つのチーム，これに続くチームの自由度を保証しながら，私たちは調整をしていきたい。
- ・県民会議については，三重県を代表する経済界の皆様も会員となっているので，県民に愛されるクラブができた時には，J 1基準のスタジアムを想定しなければならない。
- ・2つのクラブに対して目標はJ 3までなのか。ホームタウンとなる行政にも確認していきたい。これも大きな課題であると認識している。

(Jリーグ事務局 ■■■■)

- ・鈴鹿市の今回の支援文書によると，鈴鹿市が県から設置許可を受け，建設，所有，管理はすべてクラブという民設・民営のスタジアムになると受け取れる。
- ・J 3基準のスタジアムであれば可能であるが，将来，J 1まで目指すといった場合に，国の助成金が全く引き出せない民設民営の施設はかなりハードルが高いと見ている。
- ・そういった中で，将来このスタジアムを公共利用の場として考えていただき，官民連携での将来構想を考えていかないと将来的に厳しいというのが率直なところである。
- ・今回は，クラブが自らの力で切り開こうとしており，私たちも協力をしていきたいと考えている。このままの状況でJ 1まで進むのはかなり厳しいので，鈴鹿市の中で認知度が上がり，皆さんから親しまれるクラブに成長

した時には、行政の協力もないと辿りつかないと思われるので、心に留め
といてもらえればと思う。

(鈴鹿市)

- ・私の一任で決めることはできないが、将来的にはJ 1まで上がるとなれば、
行政として何らかの支援は必要と考える。行政としてもスタジアムができ
れば予定地は高い場所にあるので、防災拠点としての活用することができ、
お互いにメリットがあり、行政としても国等の助成金なども検討していく
ことになる。
- ・鈴鹿サーキットとのコラボや、観客席を利用した文化的なイベントの実施
などいろいろな方法が考えられ、何らかの支援をしていくことになると思
われる。現段階で具体的なことは言えないが、将来的には行政と鈴鹿ポイ
ントゲッターズがウィンウィンの関係で進めていければと考えている。

(Jリーグ事務局 ■■■■)

- ・新スタジアムの立地について、地元の方は、車社会でアクセスに問題はな
いと思っているが、駐車場について、現状の駐車場だけではなく、周辺施
設も含めた活用が必要かと思う。
- ・私たちが重視しているのは、アウェイのサポーターが遠方から来た時に、
自家用車が無い中で、スムーズにスタジアムに行けるのかどうかという
臨時の公共交通機関を利用するなどの可能性があると思う。
- ・鈴鹿市はF 1が開催され、そういったノウハウもお持ちだと思うので、鈴
鹿ポイントゲッターズにも将来的な輸送計画を確認した時には、鈴鹿市の
都市計画部局とコミュニケーションをとっているとの説明だった。
- ・新スタジアムが整備された場合は、公共交通機関の利用促進や周辺施設を
含めた駐車場の確保について鈴鹿市から協力をいただけるという認識で
よいか。

(鈴鹿市)

- ・鈴鹿ポイントゲッターズは駐車場に関しては、実際鈴鹿サーキットと協議
している部分がある。
- ・これまで、鈴鹿サーキットでF 1を開催している自治体として支援をして
きた実績があり、市民、商工会議所、自治会、交通輸送事業者などを入
れた地域活性化協議会ができていたため、あまり心配はしていない。
- ・今回もそのような協議体ができ、アウェイサポーターの輸送や渋滞が発生
した場合は警察も含めて協議をしていくことになる。そのような協議体

でき、運営していくことが市民を巻き込んだJリーグと思っている。

(Jリーグ事務局 ■■■■)

- ・現在、JFLのカテゴリーで、スタジアムが竣工した時には、あまり観客が入らず、集客に苦労するスタートになるかもしれない。
- ・スタジアムに来た客からすると、わざわざアウェイから鈴鹿に来て、苦労すると「もう鈴鹿はいい」という感じになったり、地元のお客さんでも駐車場が見つけれなかったり、苦労されると、それだけで離れてしまう世界でもある。
- ・これはお願いになるが、輸送計画については、スタジアムが竣工され、第一戦から鈴鹿ポイントゲッターズとコミュニケーションを図り、来た人からすばらしいと思われるスタジアムになるようにお願いしたい。

(Jリーグ事務局 ■■■■)

- ・補足になるが、悪い印象を持つと、その方が来なくなるだけでなく、今の時代は、SNSやブログなどで、「帰り駐車場で2時間待った」、「シャトルバスで1時間待った」ということが発信されることを意識していただきたい。最初が肝になる。スタジアムの新設については、クラブから整備するというで聞いているので、その節はよろしくお願いしたい。